

発行日

平成26年
5月31日
創刊号

松澤 熊野神社だより

発行 松澤 熊野神社
崇敬会長 菅谷喜作
宮 司 上代光正
氏子総代長 越川壽一
事務会計 宮負清一

松澤 熊野神社の神事や行事、歴史などを紹介します

◎ 1月1日 御目覚祭・鎮火祭

元旦、宮本役員による初詣の後、午前8時から拝殿において、責任役員・宮本役員等が参列し、上代宮司による御目覚祭・鎮火祭が執り行われました。鎮火祭は、氏子に火災等災難が及ばないように神様にお願いするものです。庭上において、稲わら束に火をつけ、神刀で一振りのもとに火を消し、災難を取り除きます。



平成26年
節分祭年男

◎ 2月3日 節分祭

当日は、各地の神社、寺院では、節分祭が開催されますが、当神社では、招待者、年男、崇敬会役員、責任役員、氏子総代参列のもと、上代宮司による節分祭が執行され、赤鬼、青鬼が中殿から現れると、参列者による豆まきが行われ、その後、社殿前の庭上において、弓で矢を四方に放つ、四方祓いの儀が行われました。

◎ 2月17日 祈年祭

2月17日は、全国の神社で、祈年祭が行われます。祈年祭は、農業が主産業である当地域にとって重要な祭りで、年の始めに当って、年穀（米を主とした農産物全般）の豊穰を祈ると共に国家安康と地域の発展を祈願するものです。当神社では、午後1時30分から崇敬会役員、責任役員、氏子総代が参列し、上代宮司により祈年祭が執り行われました。



◎ 3月21日（春分の日） 御神楽祭

春分の日のは今日は、朝から花火が打ち上げられ、宮本区の青年による神楽の舞や氏子の幼女による稚児の舞など千葉県無形文化財に指定されている「熊野神社の御神楽」の奉納日です。午前11時、招待者、神社役員、神楽奉納者等関係者の修祓、おねり、拝殿へ昇段し、神事後、神楽殿で御神楽が奉納されました。熊野神社の御神楽の特徴は、最後に拝殿で演じられる「しょうじょかえし」という舞を神へ奉納することで、他の神社には、見られないそうです。見学者の楽しみは、恵比寿の鯛つりの舞終了後、投げられる鯛、稲荷の田の舞の後で投げられる御供餅や団子、須佐之男命の締め切りの舞で投げられる御供餅を拾うのが観客の楽しみです。

(次頁に続く)

◎ 4月6日（日）御田植祭

午後2時 崇敬会役員、責任役員、氏子総代及び宮本主婦会が参列し、上代宮司による神事のあと、鳥居地先から天狗を先頭に、本殿まで行列を組みます。主婦会は、伝統の御田植の道具（鍬やまんが）を持って、古来から伝承されている歌に合わせ、田起しから田植えまでの所作をしながら本殿まで行列し、最後に、本殿前で輪になって手踊りを披露し、今年の豊年を祈願しました。



◎ 5月28日 千葉県神社総代会大会

平成26年度千葉県神社総代会大会が市原市民会館で開催され、当社からは、総代会香取支部長である上代宮司、越川責任役員、高木責任役員、宮負事務会計が参加しました。香取支部で用意して頂いた大型バスで会場へ参りました。総代会は、午後1時30分から始まり、開会の辞、神宮遥拝、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和、江口一雄総代会長挨拶、功績者表彰、来賓祝辞、被表彰者謝辞、議長選出、会務報告、日本国憲法制定時における占領軍と内閣とのやり取り等記録映画の上映後、参加者全員で万歳三唱をし、午後4時に閉会しました。来年度は、東葛飾支部管内の会場で開催されるそうです。



平成26年度松澤熊野神社役員名簿

(敬称略)

役職名	地区	氏名	役職名	地区	氏名
崇敬会役員					
会長	中3区	菅谷 喜作	責任役員	諸徳寺	高木 徳雄
副会長	中5区	荒品 真明	責任役員	入野	越川太衛一
副会長	中4区上	小久保昭治	責任役員	米込	杉崎 勝義
			責任役員	南堀之内	菅谷 一夫
			責任役員	長部	高木 正光
宮 司	東7区	上代 光正	氏子総代	中1区	木内 幸司
神 官	中9区	宮負 克己	氏子総代	中2区	大极 博
神 官	中9区	塚本 隆	氏子総代	中3区	堀江 隆夫
左 京	中9区	宮負 康雄	氏子総代	中4区上	北見 勝義
右 京	中9区	越川 壽一	氏子総代	中4区下	長谷川 幸一
顧 問	中9区	宮負 由雄	氏子総代	中5区	椎名 和男
氏子総代長	中9区	越川 壽一	氏子総代	中6区	堀江 賢一
事務会計	中9区	宮負 清一	氏子総代	中7区	杉崎 誠一
			氏子総代	中8区	山崎 昭一
宮本区長	中9区	宮負 利和	氏子総代	中10区	遠藤 富蔵
代理者	中9区	高木 昭	氏子総代	中11区	小久保三代治